12学会合同企画
令和8年熊本地震報告
「災害情報」

矢守 克也
京都大学防災研究所・教授
日本災害情報学会・会長



NHK総合の防災番組「明日をまもるナビ」（毎週日曜午前10時05分から放送）に「ヤモリン博士」として定期的に出演、最近の出演は2026/9/6



京都大学防災研究所教授
災害情報学会会長、地区防災計画学会会長
現在、内閣府「令和８年８月千葉豪雨等を踏まえた内水氾濫対策検討会」座長、内閣府「フェーズフリー等促進検討会」座長、内閣府防災庁設置準備アドバイザー会議」委員などをつとめる
専門：防災心理学、災害情報学
防災ゲーム「クロスロード」（登録商標）、津波避難訓練アプリ「逃げトレ」（特許）などを開発











３つの視点

1. 初動報道における情報課題
   フェイクニュース／ファクトチェック
2. 自治体の災害対応情報システム
   生成AI／AIエージェントを用いた情報支援（協力：伊勢正氏（防災科学技術研究所）および（株）減災ソリューションズ）
3. 平時からの情報発信～普及・啓発
   防災ゲーム「クロスロード（熊本地震編）」

視点1：初動報道における情報課題

	キャスターコメント	～30分	～35分	～40分	～45分	～50分	～55分	～17時	計
1位	身（自分）の安全を図ってください	2		2	3	6	2	2	17
2位	非常に大きな地震が発生しました			5		4	1	2	12
3位	落ち着いて行動してください	2	1	2	2			4	11
	震度7を宇城市、氷川町で観測		2	2	4	2		1	11
5位	（スタジオでも）揺れを感じています		2	5		2			9
	九州自動車道が地震の影響で通行止め				4	1	3	1	9
	JR九州は九州全域で全ての列車がストップ				3	1	3	2	9
8位	熊本県熊本（地方）で震度7を観測	3			4			1	8
9位	津波発生の可能性もあります		3	4					7
	熊本のスタジオからお伝えします		3	2	1	1			7
11位	海沿いや河口付近の人は近くの高台へ避難を		4	2					6
	RKK周辺は非常に大きな揺れを感じました			1	2	2	1		6

左：福本晋吾（2026）令和8年熊本地震における民放ラジオの初動報道分析（日本災害情報学会2026年度大会発表）
右：
https://www.asahi.com/articles/ASV8G3HYRV8GUTIL02TM.html



初動報道の成果と課題

- 既定の呼びかけの反復と飽和
- リスナーからの情報による被災地最前線の状況把握と報道

フェイク情報とファクトチェック

- 公式アプリ、公式アカウントの平時からの利用者、フォロワーの獲得
- 完全オープン、セミオープン＆セミクローズド、完全クローズド
- ニッポン放送の理容防災ネットワーク、タクシー防災レポーター制度など
- 対抗・否定・訂正・無視・静観・黙殺

視点２：自治体の災害対応情報システム

令和8年熊本地震における生成AI／AIエージェントを用いた支援

このスライドは
当日映写のみと
させていただきます

視点３：平時からの情報発信～普及・啓発

防災ゲーム「クロスロード」

- 阪神・淡路大震災の体験談をベースに作成。災害時に出会った難問（ジレンマ・クロスロード）についてYES/NOの二者択一の設問とグループ討議を通して学ぶ
- ２０１６年の熊本地震の経験をもとに、「熊本クロスロード研究会」が、独自に「クロスロード熊本地震編」を制作、普及啓発に活用
- ２０２６年、熊本日日新聞の企画「熊本地震から１０年、一歩」において、高校生たちが、１０年前に学び、かつ、今年発生した地震を踏まえた新たな学びを

「クロスロード熊本地震編」設問例

（1）あなたは被災者。被災地のコンビニで買物中。大混雑して店の外にも行列。幸いまだ商品はある。まとめ買いする？

（2）あなたは、避難所担当者。余震で建物内へ入るのが怖いので、「車を校庭に止めて外で生活させて欲しい」と避難者が訴えてくる。避難所運営マニュアルでは一般車の乗り入れは禁止。自家用車を受け入れる？

KUMAMOTO CROSSROAD




熊本地震から10年 一歩

正解がない問いに向き合う

高校生 カードゲーム「クロスロード」体験

災害時のジレンマ 意見交わす

くまもとクロスロード研究会

地震を機に発足「熊本編」制作

左＆中：https://www.facebook.com/kumamoto.crossroad/
右：「熊本日日新聞」2026年7月18日付